

平成27年度 第2回櫛引地域地区公民館運営審議会記録(概要)

日時：平成28年3月18日(金)

18:30~20:30

場所：櫛引公民館講座室

<出席者> (4名)

委員： 瀬川幸子委員、佐久間忠勝委員、斎藤ゆう子委員、難波正喜委員

事務局： 櫛引庁舎総務企画課長(併)社会教育課主幹、
(併)社会教育専門員 長谷川勝彦、
(併)専門員 板垣舞子、(併)専門員 菅原源太郎、
(併)櫻田康子 ※委員名簿順、(併)は社会教育課併任

<欠席者> (8名)

委員： 齋藤明夫委員、兼子由香委員、小島英敏委員、斎藤豊委員、
後藤淳委員、今野慎太郎委員、菅原勝委員、金内一恵委員

<公開・非公開> 公開

<傍聴者> なし

<会議内容>

1. 開会 長谷川

2. あいさつ 櫛引庁舎総務企画課長(併)社会教育課主幹

3. 協議

(1) 平成27年度櫛引公民館関係事業の内容と平成28年度の計画について

・合併から10年が経過したが、成人式は地域ごとに行っている。鶴岡市全体で成人式を行うべきでは。(委員)

→非公式ではあるが1か所で行うための検討をするよう指示が出ている。次年度の審議会で報告できることがあれば報告する。(公民館)

・1か所で行うための課題とは何か。(委員)

→成人や保護者が入る会場の収容人数の事はもちろんだが、地域に深くかかわってきた実行委員会自主企画をどうするかという事もある。(公民館)

・これまでやって来た地域の独自性も大切。せっかく成人式に参加しても知らない人ばかりだと出席率落ちるのではないかとの懸念がある。(委員)

→これまで実行委員会形式で積み上げてきた良さを失わない形で開催できるように考えていきたい。(公民館)

・子ども育成合同研修会の講師選定と日程調整は大変だが、研修会での講師の職業観などからまた新たな話を聞く機会が得られた。日程など早めに動いて新年度の研修会をやってもらいたい。(委員)

・視聴覚教育について、プラネタリウムが非常に人気だが櫛引の人ほどのくらい参加しているか。(委員)

→小学校4・6年対象の移動天文教室には櫛引の小学校すべて参加している。中央公民館からのチラシを置くだけでなく広く情報提供に努めたい。(公民館)

・公民館類似施設というのは社会教育法上の定義か？櫛引では地区公民館と言えば自治会単位の公民館の事。補助金名が非常にわかりにくい。(委員)

→社会教育法に市町村がつくる公設公民館の規定があり、それ以外の集落や町内会単位の公設ではない公民館等を公民館類似施設と規定している。(公民館)

・温海地域でコミュニティー組織の職員募集が始まり、いよいよ(公設の)公民館は櫛引のみとなる。中学校区単位での広域コミュニティー設置を地域審議会で提言してから2年。自治会があればよいとか各地区(集落)の公民館がなくなると誤解している住民もいる。

羽黒等他地域のコミュニティー化した施設には市職員がいるのか、またどのような関わり方をしているのか。区長会や自治公民館連絡協議会で説明していかなければならないのではないか。(委員)

→温海地域には広域コミュニティー組織はできていない。温海公民館の指定管理者制度の導入が決まったもの。

コミセン化したところの運営主体は小学校区単位での自治振興組織を設立し、指定管理を受託し貸館や生涯学習講座を実施している。コミセンへの移行期は市職員がサポートするが、市職員は業務に携わらない。(公民館)

・体育施設を体育協会で指定管理を受託し、市職員がいなくなったが、そのようなイメージで良いか。防災や福祉がある分、体育施設より移行は大変だと思うが。(委員)

→他地域と違い、櫛引ではまだ受け入れ組織がない。そうした組織なども含めて広域コミュニティー化について検討することになる。(公民館)

・文化祭について、学校としてはすべての学校の校長が文化祭の実行委員会へ出席するのは大変である。小中学校4校の代表が出席し全校へ周知という事にしてもらえないか。(委員)

→文化祭実行委員長とも相談したが、次年度は小中学校4校の代表校の校長に委員になっていただくようにする。委員が減るわけだが、28年度については減員のままで実行委員会を組織することを考えている。児童生徒からの出展数等22日に校長会長へ報告、その後の校長会で相談していただくことになると思う。

(公民館)

- ・文化財管理保存事業のイバラトミヨについて、生息数は減っているのか。(委員)

→正確に数を調べているわけではないが、生息しているのは確認している。櫛引に生息するイバラトミヨはレッドデータブックに載っているような希少種ではない。地元が生息環境づくり等で愛護していることから支援しているものである。(公民館)

- ・新しく増えた生涯学習講座は何か。(委員)

→クラフトテープで作る小物入れや食事術、精進料理、アイシングクッキーづくりが新規講座である。(公民館)

- ・丸岡城跡のガイダンス施設整備の事業費約7000万とのことだが予算が少ないように感じた。建物以外にどんなものを設置するのか。メインとなるものがあるか。(委員)

→武家屋敷としての風格ある建物なので、その雰囲気は損なわないようなガイダンス施設内での展示を予定している。(公民館)

- ・「ガイダンス」というと案内所とかを意味すると思うが、愛称はつけないのか。看板を掲げるなら「ガイダンス」よりいいのではないか。(委員)

→看板は「旧日向家住宅」になると思われる。(公民館)

- ・施設には人が常駐するのか。(委員)

→4月から11月の土・日の開館。平日は予約のみ。開館時は有人管理となる。

7月竣工、開館予定。開館時間は10時から16時。55坪の建物で台所の一角に展示パネルを設置する。パネル等で史跡を案内し、実物は置かない。日向家は復元した建物自体を見てもらう。市としては地元の団体を指定管理者として地域の活性化に活用してほしいと考えている。

(2) その他

特になし

4. その他

委員長が欠員となっているが、平成28年度に向けて各団体の役員改選や人事異動があるし、1年任期で交替する団体もあるので、新年度改めて委員を委嘱したうえで、委員長を互選としたい。

5. 閉会